

この家に、ヤモリが初めて姿を見せたのは、もう20年も前のことです。

それ以前は見かけることはなかったのに、ある年の夏、不意に出現したのです。

その頃、多摩丘陵の自然情報を載せた会報を毎月出していたので、早速ヤモリ情報を載せたら、八王子在住で高校の生物教師だったK先生から電話がありました。

先生は長年地域の野生生物の観察を続けていて、ヤモリもその対象でした。暖かい地方に棲むヤモリですが、最近東に東にと、生息圏を広げているとのこと。



「町田まで来ましたか・・・」との言葉に、私は内心驚きました。中国地方の岡山に育った私には、夏、網戸にくっついて虫を追うヤモリの姿は見慣れたものだったのです。

それ以来、初夏から秋まで、網戸やスリガラスの向こうに毎晩姿を見せるヤモリに、季節を感じたり、出てこない夜は案じたりするようになりました。

あれから20年。K先生は亡くなられ、ヤモリは今どの辺りまで東進しているのか、私には分かりません。しかしその間に温暖化が進み、ヤモリには棲みやすくなったのか、この夏も、我が家の網戸の向こうには、大人や子どものヤモリが餌を求めて、走り回っているのです。